



2018年8月9日

各 位

会 社 名 藤 久 株 式 有 限 公 司
FUJIKYU CORPORATION
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 後 藤 薫 徳
(コード：9966 東証第一部・名証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 ・ 人 事 部 担 当 樹 神 雄 二
(TEL 052-774-1181 代表)

特別損失（減損損失）の計上及び
2018年6月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2018年6月期において、特別損失（減損損失）を計上することといたしましたので、お知らせいたします。併せて、2018年5月11日の第3四半期決算短信発表時に公表いたしました2018年6月期通期の業績予想値と本日公表の2018年6月期決算数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる一部の固定資産（店舗設備等）について、減損損失を計上しております。また、本年は、固定資産に係る資産除去債務に関し、一坪当たりの原状回復費用を社会情勢の変化に合わせて見直したため、資産除去債務額が大幅に増加いたしました。それに伴って増加した固定資産の取得価額についても、減損処理の対象となることから、減損損失についても大幅な増額となり、減損損失3億75百万円（前年同期は2億88百万円）を特別損失に計上いたしました。

2. 2018年6月期通期（2017年7月1日～2018年6月30日）業績予想数値と決算実績値との差異

(1) 2018年6月期業績予想数値と決算実績値の差異 (金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,047	△ 538	△ 530	△ 1,034	△ 246円15銭
今回実績 (B)	20,170	△ 772	△ 762	△ 1,540	△ 366円32銭
増減額 (B-A)	△ 877	△ 234	△ 232	△ 506	—
増減率 (%)	△ 4.2	△ 43.5	△ 43.8	△ 48.9	—
(ご参考) 前期実績 (2017年6月期)	21,387	△ 4	5	△ 520	△ 123円72銭

(2) 差異が生じた理由

第4四半期会計期間におきましても、既存店売上高の回復を重点課題とし、各種政策や販売促進策に取り組んでまいりました。しかしながら、来店客数の減少傾向が予想以上に続いたことから、十分な成果を上げられず、売上高は前回予想を下回りました。

経費全般の節減に取り組み、販売費及び一般管理費の使用を計画より抑制しましたものの、想定以上の減収の影響により、営業利益及び経常利益はそれぞれ前回予想を下回りました。

また、上記のとおり、減損損失3億75百万円を特別損失に計上しましたことなどから、当期純利益も前回予想を下回りました。

以 上